

美々卯・薩摩オーナーの「組合つぶし」 解雇の不当性が法廷で明らかに!

←京橋にある東京美々卯本社



入社以来のただ働き

(未払い残業代)を払え!

東京美々卯の店長・次長は、解雇されるまで長年残業代が支払われてきませんでした。会社は労働時間管理もせず、休憩もとらずに休日・公休を返上して働かせてきたことを知りながら無料残業を放置してききました。早朝から仕入れや仕込みの現場に立ち居休みも返上し深夜の片付けまで携わってきた実態を事実に基づき追及。美々卯オーナー側は「回答不能」に陥りました。



メーデー行進の後、京橋本社前で訴える美々卯分会

「店の存続のため」と騙して書かせた退職合意書は無効!

東京美々卯経営者は「薩摩オーナー」に店を続けてもらうよう頼むのには全員の退職合意書が必要だから」と労働者に嘘の説明をして退職合意書を書かせました。ところが実際には薩摩オーナーに頼みに行かず、これを知った労働者が「退職合意書は無効だから白紙撤回してほしい」と迫りましたが応じませんでした。東京美々卯の経営者は薩摩オーナーに支配されていた実態を雇用して労働者を騙したのです。

ジャーナリストを不当提訴した

薩摩オーナーを大阪の仲間が包囲

2020年5月、黒字暴調でありながらなぜ東京美々卯は会社を清算したのか……。裁判の中で、労働者だけでなく東京美々卯経営者も事業を続けようとしていたにもかかわらず、薩摩オーナーが東京美々卯経営者に「余力のあるうちに店(東京美々卯)を盛んだほうがいいんじゃないか」と発言していたことが明らかになっています。こうして自らが率先して東京美々卯を閉鎖させた薩摩オーナーは、不透明な東京美々卯の店舗閉鎖の背景に京橋地域の開発事業があったのではないかと調査の上疑問を投げかけたジャーナリストの北さん(匿名希望)と訴えると言いつ鼻拳に出ています。出版労連をはじめ大阪の仲間との支援の輪が広がると薩摩オーナーを包囲しています。

東京美々卯の全員解雇争議とは

うごんすぎの各店・美々卯(大阪)の子会社として、1972年東京美々卯が誕生しました。京橋本店の他、渋谷・新宿・池袋・横浜等のデパートに出店し多くのファンを獲得していました。5月20日突然全店閉鎖・会社清算を行い、200人の従業員(全員が退職強要、同意しなかった労働者は解雇されました。組合員は、解雇撤回と事業再開を求めて、東京地裁に提訴。不誠実団交を東京都労働委員会に申し立てました。東京美々卯はコロナ禍で売り上げは減少してはいましたが、無借金経営で手持ち資産もあり、コロナ禍の下でも東京美々卯の経営者は雇用維持を行ける、と発言していました。しかし、美々卯社長でありオーナーである薩摩氏の一存で閉鎖を決め、全事業所閉鎖・全員解雇を強行したのです。ご支援・ご協力お願いします。

◆5/28(金)

11時 解雇裁判(東京地裁13階)

13時30分 都労委(都庁38階)

◆残業代裁判 6/22(火)14時20分(地裁13階書記官室)

「東京美々卯・営業再開署名」(PDF)協力ください

《抗議先》株式会社美々卯(代表取締役社長 薩摩和男)
大阪市中央区平野町 4-6-18 電話 06-6231-5770

《激励先・署名送り先》全労連・全国一般東京地本一般合同労働組合
東京都中央区日本橋人形町 3-7-13 センチュリープラザ 401
電話 03-6661-2773 FAX 03-6661-2783

2021.5.27

株式会社 美々卯

代表取締役社長 薩摩 和男 殿

美和ホールディングス株式会社

代表取締役社長 薩摩 和男 殿

株式会社 東京美々卯

清算人 黒木 英治 殿、同 秦 孝 殿

東京美々卯の営業を再開してください

1973年大阪美々卯ののれん分けという形で誕生して以来、東京美々卯は多くのお客様に愛されてきました。全国各地の生産者や目利きの事業者様から厳選された食材を仕入れ、長年東京美々卯の味が支えられてきました。東京の「だし文化」の一翼を担ってきたといえます。また、経営者をはじめ、オーナー、従業員の皆さんの大変な努力で無借金経営を続けてきたと聞き及んでいます。コロナ禍にあってもデパート等商業施設の閉鎖による5店舗は休業していましたが、京橋の本店は営業を続けており、東京美々卯の味を提供し続けてきました。コロナ禍の下でも誠実に働く従業員の皆さんの姿を通して、会社を挙げて緊急事態宣言が開けるのを待って奮闘していらっしゃるものと信じていました。

ところが、2020年5月19日SNSで「東京美々卯が閉店する」という情報が駆け巡りました。緊急事態宣言解除を目前にしたことであり、寝耳に水のニュースでした。長年の顧客への連絡も直前であったとのことで、閉店後の京橋店にたたずむファンからは「お別れする時間も下さらなかった」と、無念の声が聞かれました。

ところが、その後様々なニュース報道によって、閉鎖は従業員にも突然知らされたこと、従業員は全員退職を迫られたことが分かりました。

私たちは、東京美々卯の営業再開を強く願っています。

東京美々卯のうどんすきを愛している者として、応援してきた者として、伝統の味と技を引き継いでいただきたいと強く願います。そのためにも、従業員の皆さんの雇用を守り東京美々卯京橋店での営業を再開していただきたいと強く願います。私たちの想いをぜひご理解頂き、早期に東京美々卯の営業を再開されるよう、何卒、宜しくお願い致します。

ひとこと

2021年 月 日

氏名または団体名

住所